

年少 お話の順序



お子様が1枚の絵を見てどのように感じどのように考えるかということは概念教育の重要なポイントになります。この課題は「絵を読む」ことによって次の状況を類推していく遊びとなります。例えば上の絵を見ていただきどのような状況かを考えてもらいます。

汚れている服・サッカーボールからお子様は「どこかでサッカー遊びをしてきたんだな。」と考えます。ここで「どこで遊んできたの？誰と？」と聞くとお子様のイメージが広がっていきます。自身の体験や知識が多ければ多いほど表現も豊かになります。

さらに「お母さんは どんな顔しているかな？」などと聞くと表情を読み、「驚いている」などと表現します。「どうして驚いているか」など掘り下げていくことでお母さんの気持ちを推測することができます。身近な人の気持ちを考えるところから「思いやり」の気持ちが芽生えます。

さらに洗濯機の音や洗剤のにおいなどにも気付かせ、五感を使った表現を引き出していきます。このように1枚の絵からお話を広げていくことで表現力を鍛えることができます。

おうちでは読み聞かせをすることも多いかと思いますが、主人公の気持ちをおうちの方が代弁してあげたり、お子さんなりの思いを聞いたりすることでさらにイメージを広げることができます。続けていくことで読解力にもつながっていきます。楽しみながら国語力を鍛えていきましょう。

T お話の順序 お試し教材



うえ え
上の絵は なにをしているところでしょう。

①だれが なにを しているところかな。

※時計などにも気が付くことができるといいですね。

②どんな おとがするかな。

③どんなにおいがしますか。

④どんなお話をしていると思いますか。

⑤おうちのひと人はどんなきもちだとおもいますか。

※ 昼食を食べた後の片付け、昼食はなんだったかな、このあとどう思う? など

え ぜんご かんが はなし ひろ
絵の前後を考え、お話を広げていきましょう。